

8 各館事業実施報告

■ 中央図書館

1 連携事業

- ・ 4月 鎌倉国宝館と特別展「仏像入門」の見どころ解説の講座を行い、あわせて関連図書を紹介しました。
- ・ 5月 市内古書店等と本を介した地域連携による催し「ブックカーニバル in カマクラ」に協力し、関連図書を貸出しました。
- ・ 10月 川喜多アワーとして、川喜多映画記念館と連携し、「ミステリー映画の系譜」講座を開催。関連図書を展示・紹介しました。
- ・ 1月 鎌倉国宝館と、特別展「国宝館スペシャル 没後800年記念 源実朝とその時代」の見どころ解説講座と関連展示を行いました。
- ・ 2月 神奈川県行政書士会の協力を得て「現場から見た終わりなき空家問題の本質と対応策」講座を開催。関連図書を紹介しました。
- ・ 2月 明治大学落語研究会の協力を得て「鎌倉寄席」を開催。関連図書リストを作成、紹介しました。
- ・ 3月 鎌倉文学館と「作家の見た鎌倉」講座を開催、関連図書を展示しました。

2 図書館利用に障害のある方へのサービス

- ・ 図書館前道路より入り口まで点字ブロックを設置しました。

3 開館日・開館時間の試行実施

- ・ 9月1日より11月30日まで、毎週月曜日を休館し、かわりに月～水、土・日（祝日を除く）の開館時間を18時まで延長しました。
- ・ 来館者アンケートをとるなどして利用者のニーズを探りました。

4 施設環境整備

- ・ 図書館裏の喫煙場所を撤去しました。

5 近代史資料室事業

- ・ 郷土資料展示「幻のユーイービーチ～震災復興・坂ノ下埋立地の歴史」を開催しました。（10月4日～17日）

■ 腰越図書館

1 市民協働事業の継続

- ・平成29年の鎌倉市市民協働事業を継続・発展させることを目指して、「広町市民の会」「西鎌倉福祉協議会」とのコラボレーションを行いました。
- ・「広町市民の会」とは2回、「夏の夜のむしの観察会&青空図書館」で屋外でのブックトークと本の貸出、「早春の観察会」で青空図書館と早春のフィールド観察会とみつけた虫を図鑑で調べることを行いました。
- ・「西鎌倉福祉協議会」とは1階ホールと3階図書館において同時に地域の写真パネル展を行いました。

2 開館時間・開館時間の試行

- ・利用実態や利用ニーズに合わせた開館時間・開館日を検討するため、9月～11月、開館時間を9時30分～18時にし、原則月曜日を休館する試行を行いました。
- ・アンケートの結果は、現行どおりと検討案への支持がほぼ半々でした。どのような運用をするかを全館で検討中です。
- ・この試行に伴い、日々の業務について作業効率をあげる工夫を行いました。勤務時間がズレることによる職員間のコミュニケーション減少や開・閉館時に職員数が揃わない際、業務情報共有がしにくいなどの問題点が挙がりました。

3 行政センタースペースを活用した屋外おはなし会他の定着

- ・腰越行政センター内協力により、支所中庭での野外おはなし会が定着しました（雨天の場合はホールでの開催を予定する等）。夏のこわいおはなし会他、ゴールドデンウィークに7日間の「おはなしマラソン」や野外での折紙工作等を行いました。野外おはなし会は人気があり、夏の夜の行事には、腰越支所の中庭に家族連れ等で多数参加者が詰め掛けました。
- ・行事開催告知前にも野外で夜のおはなし会の実施を望む問合せがありました。
- ・1階ホールに許可を得て設置しているパネルに新着図書や図書館行事のお知らせ、サービス計画やビジョンの策定の広報を年間を通じて行いました。

4 腰越読書会の開催

- ・平成30年6月から、市民の協力を得て隔月で読書会を開催。年度内に5回行いました。
- ・これは市民のニーズ把握・市民交流の場づくり・職員研修を目的としています。中学生から定年後の大人までが同じテーブルにつき、感じ方の違いを互いに否定することなく、感想が違うことに興味を持って出し合える場となり、好評です。職員は意見を出し合う会の司会や、精読方式の読書に触れ、知識・スキルを高める機会となっています。

5 サンゴ礁ウィークにNPOグループの協力で「サンゴ礁ジグソーパズルに挑戦」を開催

- ・毎年3月5日のサンゴの日を記念してサンゴ礁ウィークが開催されており、前年度も「今日は何の日」展示で取りあげましたが、今年はサンゴ関連書籍の展示に加えて、サンゴ礁ウィーク提携NPO「LAB to CLASSプロジェクト」に協力を得て、たたみ2畳分の巨大ジグソーパズルを借用し、希望者にパズルに挑戦してもらいました。
- ・パズルの後に更にクイズに挑戦してもらい、回答関連の本を展示し、調べる体験も組み合わせました。さんごパズル参加56人、クイズ参加は28人でした。
- ・パズルに描かれた海のゴミに気づいたり、平成30年夏、鎌倉市由比ガ浜に打ち上げられたシロナガスクジラを思い出して海の環境について会話する家族の姿も見られました。

6 文化人権課とコラボしてフランスを知るおはなし会開催

- ・文化人権課と共催で11月3日、「フランスってどんな国？」を開催し、41人が参加しました。鎌倉在住のフランス出身の方に、フランスの国・出身地域の紹介、日本とフランスの似ている言葉のクイズ、フランス語の絵本読み聞かせ、わらべうた等を行いました。
- ・共催により、講師料の捻出、フランス語の絵本・児童書を30冊購入することができました。従来、大人向き洋書、子ども向き洋書絵本を購入してきましたが、小・中学生向き洋書の読み物の購入も試みに行いました。
- ・中高生対象に飾り付け他サポートのボランティアを募り、1名の高校生が参加しました。
- ・これはファンタスティック☆ライブラリーの一事業であり、子ども読書推進計画の一環（日本語を母語としない子どもへのサービス、多文化サービス）でもあります。

7 今日は何の日特集他の特集で本の情報を発信

- ・「今日は何の日」特集を平成30年度の全開館日に展示し、ツイッターで発信しました。目的は「いつも目新しいテーマの展示がある」「図書館では文学、歴史が目立つ分野なので、それ以外の分野もまんべんなく所蔵、提供していることを知らせる」「特集からの連想で利用者のブラウジングのヒントとしてもらう」としています。同時に「職員が所蔵資料内容を知ること、不足資料の確認、レファレンスに役立てる」などの効果もありました。
- ・その他、文豪特集でシール投票を行ったり、読書会で描いた絵の展示、各追悼特集、毎月1回の大特集、「シロナガスクジラ漂着」特集、表紙が青い本展示等を行いました。

■ 深沢図書館

1 子ども読書活動支援センター機能

- ・子ども読書活動支援センター事務局として、「鎌倉市子ども読書活動推進に関する連絡会議」を年度内に計2回行い、「第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画」の推進を図りました。
- ・学校貸出の拠点として、授業支援を行いました（詳細はp44～）。年間350件程度の利用があり、月に2回、貸出返却30箱前後の学校搬送を実施しています。

2 おはなしボランティア活動支援

- ・地域で読み聞かせなどの子どもの読書支援に関わる方との情報交換の場として、「第9回本の海サポーターズ交流会」を6月21日に開催しました。
- ・図書館員による年齢別向けにおすすめの本のブックトークと、おはなしボランティアとして活動している方のステップアップ講座を2月14日に開催しました。

3 地域写真展「深沢いまむかし」

- ・10月から11月にかけて、鎌倉市図書館のデジタル資料としても提供されている鈴木写真より、深沢地域の昭和30～40年代の写真と、現在の写真を並べて展示しました。子どもからお年寄りまで、身近な地域の歴史を垣間見られる展示にしました。

■ 大船図書館

1 地域写真展「大船のむかし」

- ・10月～11月にかけて、大船地域の昭和の写真を展示しました。
これらの写真は、図書館の近代史資料室が所蔵するもので、大船地域づくり会議の方が大船福祉まつりで展示したのも活用させていただきました。
大船図書館は、館内が狭く展示のスペースが乏しいですが、今後も工夫して行います。

2 エレベーター工事

- ・老朽化したエレベーターの一部工事が行われました。工事期間中は、車椅子やベビーカー利用の方にご不便をかけ、また荷物の搬出入は人力で行うなど業務に影響がりましたが、安全・安心に利用できるようになりました。
- ・工事に伴い、新聞架のスペース変更を行い、正面入り口に展示スペースを設けることができました。また、新聞・チラシの配架を工夫し、閲覧席のレイアウトを一部変更しました。

3 妊婦向けおはなしかいの開催

- ・第3次子ども読書活動推進計画に基づき、11月に妊婦向けのおはなしかい「おなかのあかちゃんと楽しむおはなしかい」を試行で開催しました。
妊婦の方はじゅうたんよりも椅子席の方が参加しやすいなど、試行によって分かったこともあり、今後もよりよい方法で開催を検討します。

4 布おもちゃで遊ぼうなど行事の開催

- ・年に数回行っている手話つきおはなしかいの前に、「布おもちゃで遊ぼう！」という行事を開催しました。図書館でいろいろな行事を行うことで、新たな来館者が訪れ、子どもにも保護者にも好評でした。



「玉縄まつり」に出展した時の様子（詳細はP20 玉縄図書館報告1）

■ 玉縄図書館

1 玉縄まつりへの初出展

- ・玉縄地域最大のイベントである玉縄まつりに、初出展しました。
日時：11月10日（土）午前10時～午後2時
場所：玉縄小学校 校庭
内容：寄贈本の譲渡（320冊）、昭和20～30年代の写真を展示、ブックリストの配布、
かみしばい実演
成果：玉縄地域の多くの団体が出展し、地域住民が多く訪れるイベントに参加することで、地域の施設としての図書館の存在をアピールすることができました。
今後も、継続参加を目指します。

2 講座と散策「玉縄の地名を歩く」の開催

- ・昨年度、市民協働事業で連続講座と歴史散策が大好評だったことを受け、今年度は地名をテーマに講座と散策を組み合わせた企画を行いました。昨年同様、玉縄歴史の会の協力を得て、ファンタスティックライブラリーの一環として開催しました。
- ・講座→散策→講座を1日で行うことにより、より理解が深まり、質問や意見交換などが活発に行われ、知的好奇心が広がるイベントとなりました。
- ・別のエリアでの開催を望む声も多く、今後も開催を検討していきます。

3 憩い宿での出張図書館

- ・昨年度、市民協働事業でつながりができた「憩い宿」の夏休み子どもお楽しみ会にあわせて、図書館から出向き、おはなし会と子どもの本の貸出を行いました。
- ・憩い宿は、城宿という地域のコミュニティスペースです。
図書館から離れた場所に位置する地域の皆さんに図書館がどのようなサービスができるか、考えながら今後も続けていきたいと思えます。

4 外壁工事

- ・平成29年度から始まった玉縄行政センター外壁工事が本格的に行われ、騒音が最もひどい4月上旬に図書館を休館しました。その間、蔵書点検と並行して外壁に接する壁紙張替えを行い、特におはなしコーナーが明るくなりました。また、屋上ダクトの修繕により、長年悩まされてきた天井からの雨漏りも解消しました。

5 エレベーター工事

- ・老朽化したエレベーターの交換工事が行われました。工事期間中は、車椅子やベビーカー利用の方にご不便をかけ、荷物の搬出入は人力で行うなど業務に影響がありましたが、新しいエレベーターになり、安全・安心に利用できるようになりました。